

北海道電力配電用品規格（HDS）	平成 24 年 2 月制定
打込アンカー用 Y 支線ストラップ	

1. 一般事項

1. 1 適用範囲

この規格は、主として架空配電線路の支線に用いる打込アンカーと連結 Y 支線棒を連結するための打込アンカー用 Y 支線ストラップ（以下、「ストラップ」という。）に適用する。

1. 2 種類

ストラップの種類は 2 種類とし、適用方法は表 1 のとおりとする。

表 1

種類	適用打込アンカー	適用連結 Y 支線棒
3 号	打込アンカー 3 号	連結 Y 支線棒
	打込アンカー 8 号	
7 号	打込アンカー 7 号	

1. 3 表示

ストラップには、次の事項を容易に消えない方法で表示する。

- (1) 品名の略称（「Y スト」）および種類（例：「Y スト 3 号」）
- (2) 製造者名またはその略号もしくは登録商標
- (3) 製造年（西暦とし、末尾 2 桁でもよい）

1. 4 呼称

ストラップの呼称は、品名および種類による。

例：「Y 支線ストラップ 3 号」

1. 5 荷造りおよび荷表示

ストラップは、取扱いが便利で輸送中破損しないように荷造りし、荷の表面には次の事項を表示する。

- (1) 品名および種類（例：「Y 支線ストラップ 3 号」）
- (2) 製造者名またはその略号もしくは登録商標
- (3) 製造年（西暦とし、末尾 2 桁でもよい。）

2. 構造および材料

2. 1 構造一般

ストラップの構造は、次のとおりとする。

- (1) 耐久性を有し、支線張力に対し十分に耐える構造とする。
- (2) すべての部品には、JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）により全面一様に溶融亜鉛めっきを施す。

2. 2 材 料

ストラップの材料は、JIS 規格に規定された鋼材とする。

2. 3 形状および寸法

ストラップの形状および寸法は、付図 1 を標準とする。

3. 性 能

ストラップの性能は、4 項の試験を行なったとき、表 2 の性能を有するものとする。

表 2

項 目	性 能	試験方法						
外観試験	外観が 1 項および 2 項を満足すること。	4. 4(1)						
構造試験	構造が 1 項および 2 項を満足すること。	4. 4(2)						
強度試験	以下の試験荷重を加えた後、3 分間経過しても各部に使用上有害なひび割れ、変形等の異常がないこと。 <table border="1" data-bbox="592 1496 1114 1637"><thead><tr><th>種 類</th><th>試験荷重</th></tr></thead><tbody><tr><td>3 号</td><td>63.7 kN</td></tr><tr><td>7 号</td><td>99.1 kN</td></tr></tbody></table>	種 類	試験荷重	3 号	63.7 kN	7 号	99.1 kN	4. 4(3)
種 類	試験荷重							
3 号	63.7 kN							
7 号	99.1 kN							
めっき試験	めっきの付着量は 450g/m ² 以上であること。ただし、ボルトおよびナットは 350g/m ² 以上（ねじ部は除く）とする。	4. 4(4)						

4. 試 験

4. 1 試験の種類

試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 形式試験
品質の良否を判定するための試験
- (2) 受入試験
受入を決定するための試験

4. 2 形式試験

形式試験は、次の項目について行う。試料数は種類毎に 3 個とし、全ての試験に合格すること。

- (1) 外観試験
- (2) 構造試験
- (3) 強度試験
- (4) めっき試験

4. 3 受入試験

受入試験は、次の項目について行う。試料数および合格判定個数は、HDS（抜取検査基準）による。

- (1) 外観試験
- (2) 構造試験

4. 4 試験方法

- (1) 外観試験
目視および適当な度器により、1項および2項のうち外観に関する事項を調べる。
- (2) 構造試験
目視および適当な度器により、1項および2項のうち構造に関する事項を調べる。
- (3) 強度試験
ストラップを図1のように設置し、表2に示す試験荷重を3分間加えた後、各部の状態を調べる。

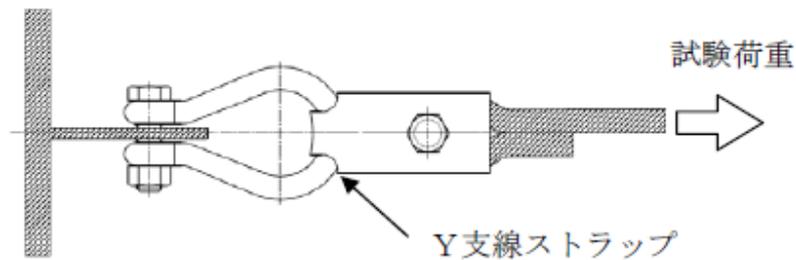


図 1

(4) めっき試験

JIS H 0401 (溶融亜鉛めっき試験方法) に規定する方法により試験を行う。

5. その他

5. 1 一般事項

- (1) 製造者は、形式試験時に 4. 2 の形式試験を実施し、その試験成績書を 2 部提出する。
- (2) 製造者は、納入時に 4. 3 の受入試験を実施し、当社が試験成績書の提出を求めた場合は指定した部数を提出する。

5. 2 関連規格

本規格に記載のない事項は、次の各規格に準ずるものとするが、規格の詳細については当社と協議のうえ決定する。

JIS K 5572 (2010) 「フタル酸樹脂エナメル」

JIS H 8641 (2007) 「溶融亜鉛めっき」

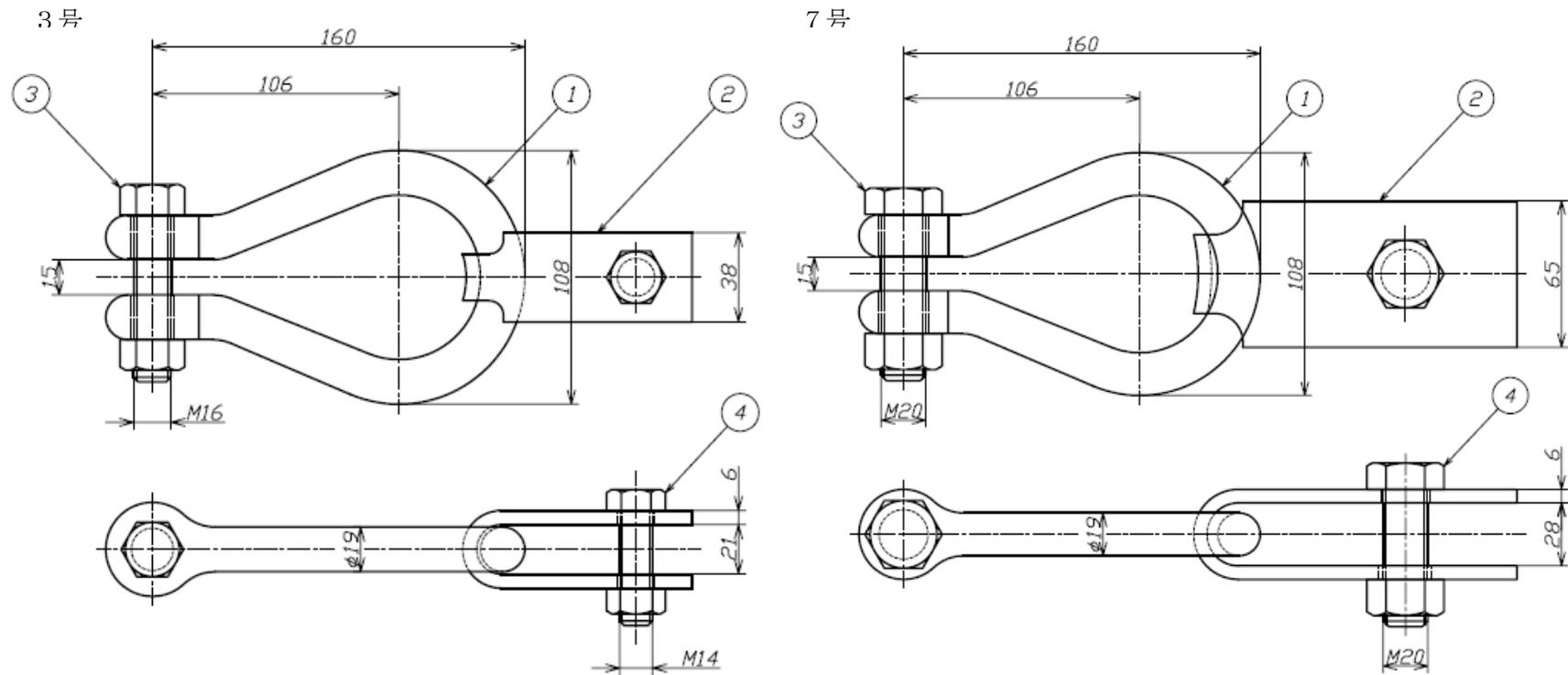
JIS H 0401 (2007) 「溶融亜鉛めっき試験方法」

北海道電力配電用品規格 HDS 「連結支線棒」

北海道電力配電用品規格 HDS 「打込アンカー」

北海道電力配電用品規格 HDS 「抜取検査基準」

付図1 打込アンカー用Y支線ストラップ標準形状寸法図



No.	部品名	数量
1	連結金具	1
2	ストラップ	1
3	取付ボルト・ナット	1
4	連結ボルト・ナット	1